サンデーサイエンス

昆虫ビンゴ

担当：動物研究室

1　内容

昆虫観察会に参加した子どもたち（主に小学校低・中学年程度）が目的意識を持って観察や採集ができるようにするため，観察項目や課題をのせたシートを作成しビンゴとして使用する。観察できた昆虫や達成した課題の項目には，昆虫などのイラストが書いてあるシールを貼ってあげることで参加者の意欲を高める。

【小学生の昆虫観察】

小学校の低・中学年の児童は，昆虫に対する興味関心が高く，昆虫の名前や生態などの知識が豊富な児童も少なくない。また，この時期の児童は男女問わず昆虫採集や観察に対しても意欲的である。小学校３年生では昆虫を学習する単元があるが，昆虫観察の仕方や道具の使い方をきちんと教わる機会は少ない。

【昆虫ビンゴの活用】

季節や場所に応じて観察できる昆虫が異なるので，さまざまなバリエーションで年間を通して活用することができる。また，項目には観察できる昆虫の設定だけでなく，フィールド内での観察するポイントや観察の仕方などを意図的に設定するなどの工夫ができる。また，指導者とのコミュニケーションをとるための項目として，「先生の名前を覚える」というような昆虫観察とは直接関係のない項目設定があってもよい。

2　準備物

昆虫ビンゴのシート，昆虫シール，捕虫網，虫かご

3　手順

（１）昆虫ビンゴのシートを配布し，活動内容およびシートの使い方について説明する。

（２）昆虫採集および観察をする。

（３）昆虫観察をしながら，確認できた昆虫や達成した項目の課題にシールを貼っていく。

（４）観察の最後にまとめをする。

昆虫ビンゴ　　博物館　夏バージョン

カードに書いてあることができたら，昆虫シールをはろう！　いくつビンゴができるかな？　　**名前：**

モンシロチョウや スジグロシロチョウを見た 〔チョウ（白）のシール〕	アリの背中をさわった 〔アリのシール〕	カブトムシなどの死体を 発見した 〔カブトムシのシール〕	シールにない虫を見た 〔好きなのシール〕	草むらでバッタをさがした 〔バッタのシール〕
バッタにさわった 〔バッタのシール〕	トンボにさわった 〔トンボのシール〕	先生の名前をおぼえた 〔すきなシール〕	セミの鳴き声を聞いた 〔セミのシール〕	アオスジアゲハのようちゅうが 食べる葉っぱをさわった 〔チョウまたはようちゅうのシール〕
セミの脱け殻を見つけた 〔セミのシール〕	穴を掘るハチを見た 〔ハチのシール〕	**フリー** 〔すきなシール〕	コガネムシのなかまを見た 〔カブトムシのシール〕	花に集まる虫を見た 〔ハチまたはチョウのシール〕
アゲハを見た 〔チョウ（アゲハ）のシール〕	丸い形の虫を見た 〔テントウムシのシール〕	水面の上を飛ぶ トンボを観察した 〔トンボのシール〕	黄色または赤色の チョウを見た 〔チョウ（黄）のシール〕	カマキリを見た 〔カマキリのシール〕
樹液に集まる昆虫を見た 〔見た虫のシール〕	ようちゅうを見た 〔ようちゅうのシール〕	竹筒トラップの ハチを観察した 〔ハチのシール〕	テントウムシを見つけた 〔テントウムシのシール〕	樹液のにおいをかいた 〔カブトムシまたはハチのシール〕

注意：シールがなくなったら，ほかの種類のシールをはってもいいよ！　　Dr. Masaki Hisamatsu

昆虫ビンゴのシートの一例

4　注意点

・昆虫観察時には，スズメバチやガの幼虫などの毒をもつ昆虫に注意する。

・捕虫網の扱い（歩行時には立ててもつ，むやみに振り回さない）など道具の使い方を伝える。

・ビンゴの項目は，季節，観察場所などを考慮して設定するとよい。

・ビンゴシートにシールを貼る活動は，観察のまとめをしたあとに行ってもよい。